

新編立川市史 資料編 近世2 目次

口絵

刊行にあたって

凡例

目次

この本を読まれる方へ

第一章 砂川家文書

総説

第一節 村のすがたとしくみ

解説

一 砂川村の概要

1	寛延三年九月	砂川村の村明細帳	30
2	延享二年正月	砂川新田と砂川前新田の村明細帳	31
3	寛政二年三月	砂川村の村明細帳案	34
4	天保九年三月	中藤新田他二か村の村明細帳	37
5	(天保年間)	中里新田の村明細帳	38
6	天保一二年三月	砂川村の村明細帳	39
7	(天保一四年)	砂川村の村柄書上	42
8	子(元治元年)	九月 砂川村の村役書上帳	43
9	正徳四年四月	砂川村の村入用夫錢帳	45
10	享保二一年四月	砂川村の新田検地に関する村入用書上	46

11 宝暦二年(弘化四年) 砂川村の村入用帳ノ高控

二 砂川村の村役人

12 戊(享保一五年)三月 名主十右衛門の死去による跡役

任命書

13 宝暦九年三月 名主重右衛門の死去による跡役の取り決

め証文

14 文化九年一二月 砂川村名主源五右衛門に中里新田の兼

帯名主を依頼する頼み証文

15 亥(文化一二年)四月 中里新田の兼帯名主解消に関する

願書

三 村内の取り決めと争論

16 天保七年九月 凶作時の対応に関する一番組の連印帳

17 天保一〇年三月 秣の刈り取りに関する議定

18 貞享元年一二月 砂川村の上郷と下郷の争論に関する取

り決め

19 貞享三年一〇月 名主助左衛門の退役宥免願

20 明和八年二月 砂川村村役人の年貢金不正をめぐる一件

の済口証文

21 明和八年五月 砂川村組頭の退役宥免願

22 明和八年八月 組頭役一件の内済証文

23 明和八年八月 組頭役一件の済口証文

24 (文政八年正月写) 岸村一件の記録

25	文化一三年閏八月	岸村一件における源五右衛門の返答	74
	書の下書		74
	第二節 新田開発と村人の負担		
	解説		77
	一 砂川村の開発		
26	(文化二年写)	砂川村の開発由緒	79
27	寛文九年閏一〇月	砂川村の年貢割付状	79
28	延宝六年一〇月	砂川村の年貢割付状	79
29	元禄二年一〇月	砂川村の年貢割付状	80
30	宝暦二年一〇月	砂川村の年貢割付状	81
31	文政三年一〇月	砂川村の年貢割付状	82
32	弘化二年一〇月	砂川村の畑田成一件の記録	83
	二 武蔵野新田の成立		
33	享保一四年一〇月	砂川新田の開発場年貢割付状	84
34	享保一四年一〇月	砂川前新田の開発場年貢割付状	85
35	享保一六年一〇月	砂川新田の開発場年貢割付状	86
36	享保一七年一〇月	砂川新田の開発場年貢割付状	86
37	享保一八年一〇月	砂川新田の年貢割付状	87
38	享保二〇年一〇月	砂川新田の年貢割付状	87
39	元文二年一〇月	砂川前新田の年貢割付状	88
40	元文五年一〇月	砂川新田の年貢割付状	89
41	明治三年二月	殿ヶ谷新田の年貢皆済目録	90
42	明治三年一〇月	中里新田の租税割付	90
43	延享二年一二月	砂川村の夫食返納分の受取状	91
44	宝暦二年一〇月	砂川村の夫食返納分の受取状	91
45	延享四年一二月	砂川村の新田開発料返納金の請取覚	91
46	寛延元年一〇月	砂川村の新田開発料返納金の請取覚	92
47	元治元年四月	殿ヶ谷新田の養料金割渡帳	92
48	嘉永七年四月	砂川新田・砂川前新田の御栗林老木代小 前帳	94
	三 林地の利用と開発		
49	宝暦五年六月	砂川村の並木御林改帳	96
50	明和三年一二月	砂川新田の助成林跡地の年貢上納に關 する願書	101
51	寛政五年四月	砂川村と砂川新田の起返しと引高の記録	101
52	安政三年九月	並木御林の損木を村で預かる旨の請書	103
53	安政四年七月	並木御林の開発に關する連印証文	104
	第三節 鷹場		
	解説		105
	一 鷹場御用留		
54	寛永二年〜文化三年	尾州御用留	108
	二 鷹場法度・連印帳・諸願書		
55	享保三年二月	鷹場法度証文	120
56	寛政元年二月	村野源五右衛門に対する鷹場預り案内役 の心得書	121
57	嘉永三年正月	鷹場内村々の請印帳	121

58	安政三年正月	鷹場内の水車稼人の連印請書……………	125
59	安政三年正月	鷹場内の鳩の飼育者の連印請書……………	126
60	安政三年正月	鷹場内の小鳥の飼育者の連印請書……………	126
61	文政九年九月	中里新田他二か村の案山子使用許可願……………	128
62	文政十一年正月	中里新田他二か村の猪鹿追散許可願……………	129
63	元治元年三月	柴崎村百姓の家宅修理許可願……………	129
64	元治元年七月	宮沢新田の獅子祭礼許可願……………	130
65	元治二年三月	三ツ木村百姓の油絞稼許可願……………	130
66	元治二年三月	中藤村他六か村の鉄砲使用許可願……………	130
三 御鷹場御預御案内			
67	(享保二年) 安政六年	鷹場預り案内役の任命に関する記録……………	132
68	天保五年八月	百姓宿を定宿とすることに反対する鷹場預り案内役の願書……………	136
69	(天保二年) 六月	鷹場預り案内役の支配替えを伝える申渡し……………	137
70	嘉永七年閏七月	鷹場預り案内役の交代に関する記録……………	137
71	安政二年二月	村野保三郎の鷹場預り案内役見習就任に関する記録……………	140
72	安政六年五月	鷹場預り案内役の序列撤廃を願う口上書……………	141
73	(安政六年・万延二年)	鷹場預り案内役の序列撤廃に反対する願書……………	143

74	万延二年二月	御高盛御用を務めたいと願う村野源五右衛門の願書……………	145
75	文久二年閏八月	鷹場預り案内役村野家の由緒書……………	146
76	戊辰(文久二年) 九月	鷹場預り案内役の序列撤廃願の棄却を求める願書の下書……………	151
77	元治元年九月	御高盛御用を務めたいと願う村野東作の願書……………	153
78	年月不詳	鷹場預り案内役の人数削減を求める願書……………	154
第四節 玉川上水と分水の管理			
解説……………			
一 上水見廻り役の職務			
79	天保六年正月	御普請方御用留……………	157
80	(文政八年八月)	水盛杭の図……………	195
81	(安政年間)	急破普請時の人足供出に対する褒美の記録……………	195
二 分水の管理			
82	天保一〇年一〇月	吞水水料金の上納に関する証文……………	197
83	天保一〇年三月	分水口の取締りに関する請書……………	198
84	元治元年八月	分水樋の伏せ替えに関する中藤新田と平兵衛新田の願書……………	199
85	天保一二年一〇月	分水口の場所替えに関する砂川村の願書……………	199
三 水車の管理			
86	文政五年閏一〇月	玉川上水の各分水と水車の見分記録……………	200

87	文政五年七月	新規水車の設置に反対する源五右衛門の 要望書……………	207
88	文政二年七月	砂川村百姓の水車稼ぎに関する届書……………	207
	四 用水路の管理		
89	享和三年五月	用水縁の立木の伐採をめぐる争論の済口 証文……………	208
90	慶応元年九月	玉川上水と狭山池助水の大浚いにおける 賃銭割賦帳……………	209
91	(明治年間)	玉川上水から荒川へ流れる堀割の龜絵図……………	212
	五 玉川神田両上水起原		
92	年月不詳	玉川神田両上水起原……………	214
	第五節 村の産業		
	解説……………		217
	一 産業の実態		
93	文政一二年四月	砂川村における質屋渡世の書上……………	219
94	文政一二年	砂川村における農間渡世の書上……………	220
95	天保一三年四月	諸色値下げの指示に対する連印議定……………	222
96	天保一三年六月	諸色値下げ書上帳……………	226
97	天保一四年正月	質利息引き下げの触に対する請書……………	231
98	天保一四年七月	砂川村における農間渡世の書上……………	232
99	天保一四年九月	農間渡世取締りの触に対する請書……………	235
	二 諸産物と流通		
100	文政一〇年六月	源五右衛門へ酒造株を譲渡する証文……………	237
101	天保四年五月	源五右衛門からの酒造株譲渡に関する願書……………	237
102	天保一五年二月	酒食商い禁止の触に対する升売人の請書……………	238
103	(寛政二年(文政七年))	諸国糠一件の記録……………	239
104	文政元年六月	藍玉代金滞納の訴えに対する砂川村百姓 の返答書……………	246
105	文政元年八月	横山宿問屋との青物取引に関する議定……………	247
106	文政四年一月	炭売掛金の滞納に関する争論の済口証文……………	247
107	天保四年六月	青物取引は以前の通り横山宿問屋が扱う 旨の議定……………	248
	第六節 寺社と信仰		
	解説……………		250
	一 流泉寺		
108	貞享三年三月	流泉寺の縁起と住職の心得……………	252
109	元禄二年十一月	大日堂屋敷が流泉寺の年貢地であるこ とを確認する証文……………	252
110	文化一一年七月	施餓鬼に関する上郷と下郷の取り決め……………	252
111	天保五年七月	源五右衛門からの永代祠堂金寄付に關す る証文……………	253
112	天保五年七月	源五右衛門からの永代施餓鬼料寄付に關 する証文……………	254
113	天保五年七月	源五右衛門からの永代茶湯料寄付に關す る証文……………	254
114	天保一〇年九月	流泉寺庫裏の建築仕様書……………	254

二 阿豆佐味天神社

- 115 文政四年八月 保管中の獅子舞道具の勝手取計に関する

詫び証文……

257

- 116 慶応四年七月 御一新による社領の扱いを尋ねる伺書下

書……

258

三 金比羅祠

- 117 明和四年正月 金比羅祠の記録……

258

四 地域の寺社

- 118 弘化四年二月 中藤新田他一か村の寺社書上帳……

260

- 119 弘化四年二月 宮沢新田他二か村の寺社書上帳……

261

- 120 卯（安政二年）二月 源五右衛門の十万霊施餓鬼奉納に

対する普濟寺の書状……

262

第七節 村人のくらし

解説……

263

一 村に住むさまざまな人々

- 121 天明五年一〇月 砂川村修験の宗旨証文……

266

- 122 天明六年七月 砂川村修験の宗門人別書上……

266

- 123 天明六年十一月 砂川村修験からの申上書……

266

- 124 文化六年三月 砂川村千人同心宅の盗難品の記録……

267

- 125 文化六年二月 清水弥十郎から清水弥五左衛門への千人

同心株の譲渡証文……

268

- 126 文化六年三月 千人同心弥十郎の人別帳記載に関する吟

味下げ願……

268

- 127 文化六年三月 千人同心弥五左衛門が所持する年貢高を

親類で引き受ける旨の願書……

268

- 128 天保六年八月 千人同心弥五左衛門への尋問に対する回

答書……

269

- 129 未（天保六年）一〇月 千人同心弥五左衛門父子の出府

に関する届出……

269

- 130 申（天保七年）三月 千人同心弥五左衛門の病死に関する

届出……

270

二 村での「発見」と「不始末」

- 131 文化四年四月 砂川村で発見された脇差の受取証文……

270

- 132 天保四年三月 砂川村で発見された小判を引き渡す証文……

270

- 133 天保四年四月 砂川新田で発見された小判の領収書……

271

- 134 天保六年九月 砂川村で発生した火災の届出……

272

- 135 天保九年一〇月 砂川村で発生した火災の届出……

272

三 不穏な村

- 136 文化九年一二月 中里新田名主を源五右衛門が兼帯する

旨の請書……

273

- 137 文化一〇年正月 中里新田元百姓の関所に関する請書……

273

- 138 酉（文化一〇年）正月 中里新田元百姓の関所払金の上

納に関する請書……

274

- 139 文政八年正月 中里新田の親殺し人発見は虚報の旨の届出……

274

- 140 （文政一一年）金子を求める無宿人の張紙の写し……

275

四 村での生と死

141	文化八年一月	村野源治郎の袴着祝儀受納帳	275
142	文政五年一月	村野さゝの帯解祝儀受納帳	278
143	文久二年八月	貞松院の葬儀の記録	281
	第八節 村の情報と文芸		
	解説		286
	一 情報の記録		
144	(嘉永七年)	黒船への対応を伝える萩原順蔵の書簡	289
145	元治元年三月	水戸天狗党の乱の記録	289
146	年月不詳	楽水の読書記録	293
	二 旅の記録		
147	(文政一三年)	長崎旅行の道中記	303
	三 詩歌		
148	年月不詳	夏乱題の講評	312
149	年月不詳	砂川連の夏季句合	315
	四 楽水園		
150	年月不詳	楽水園を詠んだ漢詩	318
151	年月不詳	楽水園を詠んだ漢詩	318
152	嘉永三年一〇月	楽水園菊名譜	319
	五 往来物		
153	年月不詳	砂川村近隣の村名尽	324
	第九節 幕末の砂川村		
	解説		325
	一 大惣代村野家と拝島村組合		
154	天保九年六月	御改革御用留	328
155	戊(嘉永三年) 一月	中藤新田百姓らの博奕の内探を命じる代官役所からの達	349
156	戊(嘉永三年) 一月	中藤新田百姓らの博奕に関する内探報告の下書	350
157	(嘉永年間)	中藤村年寄らの身辺調査を命じる代官役所の達	351
158	(嘉永年間)	中藤村年寄らの身辺調査に関する報告の下書	351
	二 砂川地域の治安悪化		
159	天保六年三月	欠落した女房の身柄を引き受けた砂川新田百姓の詫び証文	352
160	天保九年六月	盗みを働いた砂川村百姓の詫び証文(安政年間)	353
161	砂川村百姓の濁酒密造に関する書上		353
162	天保二年八月	砂川村で発生した傷害事件の吟味下げを求める願書	355
163	天保三年四月	暴行を受けた砂川村百姓の容体書	356
164	天保三年四月	砂川村で発生した傷害事件の内済に関する議定	356
165	天保六年一〇月	砂川村で発生した傷害事件に関する詫び証文	357
166	弘化二年八月	中里新田で発生した傷害事件の済口証文	357
	三 海防と在村武力		

167	文久三年一月 拝島村組合農兵の名前書上帳……………	358
168	慶応元年九月 拝島村組合農兵の名前書上帳……………	369
169	年月不詳 拝島村組合の農兵鉄砲割合帳……………	372
170	(天保六年八月) 千人同心弥五左衛門の人別帳記載に関 する書付の下書……………	374
171	(天保六年八月) 千人同心弥五左衛門の人別帳記載に関 する書付の下書……………	375
172	(天保六年) 千人同心弥五左衛門父子の不法に関する訴 状の下書……………	375
173	(天保六年) 千人同心弥五左衛門父子の不法に関する訴 状の下書……………	375
174	文政四年三月 砂川新田で行われた剣術試合に対する訴状……………	376
175	文政四年四月 砂川新田で行われた剣術試合に関する託 び証文……………	377
176	天保六年八月 剣術稽古について容赦を願う砂川村百姓 の願書……………	378
177	(文久三年三月) 京都から届いた近藤勇の書簡の写し……………	378
178	慶応四年五月 軍用金の献金に対する仁義隊の感状……………	382
179	(慶応四年) 所沢村精勇隊一件に関する記録の下書……………	383
第二章 須崎家文書		
第一節 砂川村八番組		
18	嘉永二年七月 沢井村の山林を七郎右衛門へ売却する証文……………	429
17	天保一四年一二月 七郎右衛門が所持する田の小作証文……………	429
16	天保一二年九月 須崎家の相続をめぐる一件の洩口証文……………	428
15	文化四年 七郎右衛門へ差し出す奉公人に関する請状……………	428
14	安永九年九月 七郎右衛門へ畑を質入れする証文……………	427
13	宝暦一二年一二月 七郎右衛門へ質入れた野畑を流地 として渡す証文……………	427
第二節 須崎家の経営		
12	(文久二年写) 大名を役者に見立てた風刺文……………	423
11	元治元年一二月 非常時対応に関する組合村議定……………	421
10	(幕末) 吟味中の博奕人の村預けに関する証文……………	421
9	文久二年八月 盗難・紛失届の記録……………	419
8	慶応三年八月 不職人の取締りに関する組内議定書……………	418
7	文久二年八月 寄合時の取り決めに関する組内議定書……………	417
二 八番組の運営		
6	文久三年正月 八番組の御用留……………	410
5	文久二年正月 八番組の御用留……………	401
4	文久元年五月 八番組の記録帳……………	400
3	嘉永六年一二月 八番組の記録帳……………	395
2	天保七年正月 八番組の御用留……………	392
1	天保六年正月 八番組の御用留……………	391
一 八番組の御用留・記録		
18	嘉永二年七月 沢井村の山林を七郎右衛門へ売却する証文……………	429
17	天保一四年一二月 七郎右衛門が所持する田の小作証文……………	429
16	天保一二年九月 須崎家の相続をめぐる一件の洩口証文……………	428
15	文化四年 七郎右衛門へ差し出す奉公人に関する請状……………	428
14	安永九年九月 七郎右衛門へ畑を質入れする証文……………	427
13	宝暦一二年一二月 七郎右衛門へ質入れた野畑を流地 として渡す証文……………	427
12	(文久二年写) 大名を役者に見立てた風刺文……………	423
11	元治元年一二月 非常時対応に関する組合村議定……………	421
10	(幕末) 吟味中の博奕人の村預けに関する証文……………	421
9	文久二年八月 盗難・紛失届の記録……………	419
8	慶応三年八月 不職人の取締りに関する組内議定書……………	418
7	文久二年八月 寄合時の取り決めに関する組内議定書……………	417
二 八番組の運営		
6	文久三年正月 八番組の御用留……………	410
5	文久二年正月 八番組の御用留……………	401
4	文久元年五月 八番組の記録帳……………	400
3	嘉永六年一二月 八番組の記録帳……………	395
2	天保七年正月 八番組の御用留……………	392
1	天保六年正月 八番組の御用留……………	391
一 八番組の御用留・記録		

19	文久四年二月 盗品の質預かりに関して火付盗賊改に差し出した始末書……………	430
20	嘉永六年二月 勝五郎の江戸奉公に関する請状……………	432
21	嘉永七年八月 柏木成子町の沽券状の預り証文……………	432
22	安政二年正月 勝五郎長病のため七郎右衛門から金子を借用する証文……………	433
23	安政二年三月 七郎右衛門の江戸駆回り奉公を務める旨の一札……………	433
24	安政二年八月 須崎家の江戸店建築に関する入用帳……………	434
25	安政三年六月 雑穀直売に対する七郎右衛門らの詫び証文……………	434
26	安政三年六月 雑穀直売一件の吟味下げを願う案文……………	435
27	安政四年八月 床見世の敷金として七郎右衛門より金子を借用する証文……………	438
28	安政六年一二月 商いの元手として七郎右衛門より金子を借用する証文……………	438
29	弘化二年八月 須崎家の質蔵建築に関する入用帳……………	439
	第三章 阿豆佐味天神社所蔵文書	
	解説……………	450
	第一節 阿豆佐味天神社の概要	
1	慶安元年九月 徳川家光の朱印状写……………	453
2	享保六年一二月 阿豆佐味天神社の明細書……………	453
	第二節 萱地一件	
3	享保四年三月 阿豆佐味天神社神主より砂川村百姓に対する訴状……………	453
4	享保四年四月 阿豆佐味天神社神主の訴えに対する砂川村百姓の返答書……………	454
5	享保四年五月 裁許によって阿豆佐味天神社神主と砂川村百姓が交わした証文……………	455
6	享保四年一二月 除地の境界の明確化を求める阿豆佐味天神社神主の願書……………	456
	第三節 阿豆佐味天神社の再建	
7	寛保二年五月 社地の立木売却をめぐる訴状……………	456
8	(寛保二年) 社地の竹木売却をめぐる訴状の下書……………	457
9	天保一〇年一〇月 本殿の建築仕様書……………	458
10	天保一一年九月 拝殿の彫刻の仕様書……………	458
11	弘化五年正月 拝殿再建の諸費用取調帳……………	459
12	嘉永四年正月 拝殿再建のための九番組の寄進帳……………	463
13	(文久二年八月) 拝殿の上棟式の祝詞……………	465
	第四節 蚕影大権現の勧請	
14	安政七年二月 蚕影大権現の分社状……………	465
15	万延元年九月 蚕影大権現社の遷宮寄進帳……………	465
16	万延元年一二月 蚕影大権現社の仕様注文帳……………	471
17	万延二年二月 蚕影大権現の再分社状……………	472
18	万延二年三月 蚕影大権現社の棟札の下書……………	473
	第五節 神主宮崎家と宗教行事	

19	元治元年五月	宮崎若狭頭へ授与された神道裁許状	473
20	元治元年五月	宮崎若狭頭へ授与された中臣祓	473
21	元治元年五月	宮崎若狭頭へ授与された六根清浄大祓	474
22	元治元年五月	宮崎若狭頭へ授与された参詣次第	475
23	文政八年正月	神事諸用留帳	475
24	万延元年三月	江戸城本丸再建のための献金の受取証文	479
25	申(万延元年)	五月 江戸城本丸再建のための献金の受取証文	479
26	丑(慶応元年)	五月 御進発のための献金の受取証文	480
27	嘉永六年一二月	竈メと初午の祈願者の連名帳	480
第四章 諸家文書			
解説			
1	第一節 宮崎敏和家文書		494
2	(享保一六年)	砂川村と流泉寺の成立に関する書付の写し	502
3	寛文元年六月	砂川村の草分と座配に関する取り決め	502
4	子(文化一三年)	一〇月 岸村一件の吟味に関する頼み証文	502
5	安政六年七月	井戸掘りの人足の記録	503
6	(寛政三年(文化一〇年))	玉川上水六ノ橋の架け替えの記録	509
第二節 島田家文書			
6	天保七年一〇月	島田平四郎の金子借用証文	511
7	嘉永五年一〇月	島田平四郎の金子借用証文	512
8	天保一〇年二月	島田家での下男奉公に関する請状	512
9	天保一一年二月	島田家での下男奉公に関する請状	513
10	天保一〇年二月	島田家での下女奉公に関する請状	513
11	天保一一年二月	島田家での下女奉公に関する請状	514
12	天保一三年二月	島田家での下女奉公に関する請状	514
13	嘉永四年二月	松平安芸守家での御殿奉公に関する請状	515
第三節 安藤家文書			
14	年不詳三月	波多野文右衛門との取引の記録	515
第四節 小林家文書			
一 村役人家としての活動			
15	宝永元年一二月	砂川村下郷百姓の年貢受取状	517
16	正徳二年一二月	砂川村下郷百姓の年貢受取状	517
17	享保元年一二月	砂川村下郷百姓の年貢受取状	518
18	慶応三年一二月	砂川新田の年貢永の小割帳	518
19	天保八年八月	天保飢饉での施行に対する褒賞の請書	522
20	(安政元年正月)	台場築造のための献金に関する書類	522
21	寅(安政元年)	正月 台場築造献金への褒美に関する申渡し	522
22	慶応四年四月	砂川村九番組の糠貸付帳	522
23	安政六年正月	砂川村九番組百姓の夫婦間の取り決め	523
24	天保四年正月	井戸の修復における入用や助成の記録	524

25	慶応四年八月 玉川上水の分水付け替えに関する対談書……	528
二 家の経営と諸商い		

26	天保一三年七月 小林七左衛門に対する金子借用証文……	531
27	嘉永五年一月 小林勝平に対する金子借用証文……	532
28	安政六年八月 砂川村の質屋稼人による冥加永の上納願……	532
29	万延元年 蚕種の相場割……	532
30	万延元年一〇月 小林勝平へ伝えられた蚕に関するまじ ない……	533
31	文久二年三月 蚕種元手金として小林勝平より金子を借 用する証文……	533

第五節 山川家文書

32	享和元年五月 山川家の葬儀における入用の勘定帳……	534
33	享和元年五月 山川家の葬儀における香典帳……	535
34	天保一四年八月 山川家の七回忌における香典帳……	537
35	文化四年一二月 砂川新田と砂川前新田の年貢納入に関 する覚帳……	538

第六節 宮崎祐子家文書

一 砂川前新田の開発

36	享保一〇年四月 上谷保村から砂川村へ開発場を売り渡 す証文……	549
37	享保一〇年四月 上谷保村から砂川村へ開発場を売り渡 す証文……	549

二 十番組の組頭

38	慶応四年二月 薪林が入り込んだ隣家へ地代を支払う 証文……	550
----	----------------------------------	-----

39	明治二年七月 砂川前新田の組頭の選出に関する組議定……	550
40	明治二年七月 砂川前新田の組頭を三年間宮崎傳七に決 める証文……	551
41	明治二年八月 宮崎傳七が受け取った組頭役入り祝いの控……	552
三 分水の利用と争論		

42	慶応三年三月 中藤新田分水一件の解決を求める砂川新 田と砂川前新田の頼み証文……	553
43	慶応三年四月 中藤新田と平兵衛新田の分水の取り扱い を非難する源五右衛門の願書……	553

44	慶応三年七月 中藤新田名主弥一郎らの訴状に対する源 五右衛門の返答書……	555
----	---	-----

第七節 中野家文書

45	慶応元年正月 諸入用覚帳……	557
46	慶応元年七月 馬の売り渡し証文……	560
47	辰九月 鉄砲代金の領収書……	560

第八節 塩野家文書

48	享保一八年七月 殿ヶ谷新田の未進年貢の納入に関する 証文……	560
----	-----------------------------------	-----

第九節 普濟寺文書

一 砂川村の開発

49	貞享四年七月 小宮領・拝島領・山口領村々の秣場争論……	
----	-----------------------------	--

の裁許裏書

二 砂川村流泉寺

50 延宝七年八月 流泉寺の明細書上

51 明和九年一〇月 流泉寺の鉄砲改めに関する証文

三 殿ヶ谷新田玉林寺

52 延宝七年八月 玉林寺の明細書上

53 嘉永二年四月 玉林寺に谷保村南養寺より文海を招く願書

54 文久元年四月 玉林寺の土地の目録

55 文久元年九月 玉林寺の訴願に天源庵の添書を求める普

濟寺の願書

56 文久元年一月 玉林寺一件の示談に関する証文

57 文久元年一二月 玉林寺一件の内済のため吟味取り下げ願

第一〇節 井瀧家文書

58 文化一五年四月 井瀧伊勢五郎に与えられた天然理心流

の剣術切紙

59 文政元年 井瀧伊勢五郎に与えられた天然理心流の目録

60 年月不詳 井瀧伊勢五郎に与えられた天然理心流の中極

意目録

61 文政五年 井瀧伊勢五郎に与えられた天然理心流の免許

62 年月不詳 井瀧伊勢五郎に与えられた天然理心流の柔術

切紙

63 天保五年三月 天然理心流の型の名前の一覧

64 (天保四年〜嘉永六年) 井瀧伊勢五郎の門人の神文帳

第五章 市外文書

解説

第一節 平沢村内田嘉一郎家文書

1 辰(享保二年)三月 平沢村から開発場を買い取る証文

第二節 中藤村内野佐兵衛家文書

2 元文元年一月 芋窪新田の年貢割付状

3 天明六年七月 中藤村より検地帳を受け取る証文

第三節 中藤新田中藤伸弥家文書

4 文政五年一月 芋窪新田の名主給の増額に関する取り

決め

5 天保一二年二月 中藤新田・芋窪新田・上谷保新田の一

手支配を願う願書

6 (天保年間) 弥市倅弥一郎の名主任命に関する願書

7 安政五年三月 芋窪新田と中藤新田が支配違いとなるこ

とに関する願書

8 安政五年七月 芋窪新田の名主役に関する願書

9 (安政五年) 芋窪新田に名主の設置を求める訴願の吟味

下げ願

10 安政五年一二月 芋窪新田組頭への文書の引き渡しなど

付録

掲載史料所蔵者・参考文献

協力者・協力機関・執筆者・市史編さん関係者